



ワムタウン広場

WAM Town Open Space !

発行 一般社団法人ワムタウン推進本部
 〒 359-1131 埼玉県所沢市大字久米 554 番地 2
 TEL 04-2941-3640 FAX 04-2941-3641
 http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会
 医療法人昭仁会
 社会福祉法人栄光会

WAM TOWN

第99号 2017年/平成29年1月1日(日)

1



迎春



新しい年、変革の年へ

MSS 保健医療福祉グループ 代表
 医療法人啓仁会 理事長 矢吹 甚吾

皆さん、あけましておめでとうございます。今年は、どのような年明けを迎えられましたでしょうか。

去年は消費税増税が見送られたため、社会保障に充てる財源が1.4兆円減少すると見込まれています。これらのことが2018年度の診療・介護報酬の同時改定に影響することも予想されます。ますます厳しくなる環境下で生き残っていくために、今年は、その準備の年となります。

そのためには、自己変革をし、知恵を絞らなければなりません。過去の成功体験に囚われず、グループ内外から学習し新しい発想を身に着けなければ自己変革はできません。

私も昨年4月に啓仁会の理事長に就任して新しい年を迎えました。これを機に私も皆さんと共に変革に取り組んで参りたいと思います。



新年明けまして おめでとうございます

医療法人啓仁会 副理事長
 所沢ロイヤル病院 院長 大久保 清一郎

去年は、世界的に激動の一年でした。英国のEU離脱やアメリカでのトランプ氏の大統領当選など事前の予測を覆す結果に驚きました。日本でも、東日本大地震の余震が今だ続かなか、熊本でも大地震が起き、災害の怖さを痛感しています。内政的には、高齢化社会が世界の先進国のなかでも、類を見ないスピードで進んでいますが、これは、医療の進歩だけでなく、医療を取り巻く環境が手厚い証拠でもあります。世界でも冠たる国民皆保険制度そして介護保険制度のお陰です。さまざまな問題はあるでしょうが、これらの制度を、しっかり維持推進していきたいものです。豊かな高齢者社会の確立のため、私どもも努力してまいります。



新年のごあいさつ 今年の“運”は？

医療法人昭仁会 北野病院 名誉院長 西久保 国昭

皆さん、明けましておめでとうございます。

去年も一年間“奇跡の星地球”では、世界各地で数多くの災害や戦争・テロ等の人災が引切り無しに起こり、大変な一年でした。地球温暖化もほとんどストップがかからず、いよいよ“奇跡の星”も怒り出した様です。ようやく世界の首脳達による国際会議（COP22等）が開かれる様になりましたが、地球が怒り狂う前に治療効果が現れてくれることを祈るだけです。

幸い（と言って良いのかどうか分かりませんが）私達が今住んでいる地域は、景色はともかく大きな災害は起こり難い地形になっている様です。

さてここからは、私事になりますが“運”についてお話しします。最近家族で時々話題にするのは、博多出身の私達が、まさか地名も知らず縁もゆかりもない埼玉県の新座市と云う日本でも最も安全と思われる「地」に住む様になったのは、何か不思議な力に引っぱられて、いつの間にかこうなった様に思えるのです。

これが正しく私達の“運”だと思います。

私は72年前の戦争末期にシンガポールで生まれました。生後7カ月の乳飲み子の頃、当時とても危険な海域を、日本でただ一隻生き残ったかの有名な“氷川丸”の船底に1ヵ月間乗って、奇跡的に帰国しました。

ですから私は時々思うことがあります。“ひょっとしたら私は幽霊かもしれない”と…。ただ、いつ見ても短い脚が2本付いています。これが私の“運”の始まりの様な気がします。

30歳の頃思い切って上京し、大塚（現有明）の癌研で癌の外科を学び、数年後、目茶苦茶“運”の強い“矢吹甚吾”と云う人間と出会い、それからその後の私の人生は激変しました。34歳の時には北野病院を設立していました。その後も多くの“運”の強い人々と出会い、助けられ現在の私と家族、そして仲間である昭仁会の職員の方・地味ですが皆さんのお陰で大いに社会に貢献している北野病院・老健四季の里があるのです。

もちろん、これまでになるのに努力もしましたが、かなりの“運”も加勢してくれたと思っています。

今後も（今年も）皆さんのご協力と皆さんの“強運”を力に変えて地域社会の為に微力を尽くして行きたいと思っていますので、どうか宜しくお願い申し上げます。



あけましておめでとうございます

社会福祉法人 栄光会 理事長 北林 登美雄

栄光会は今年で22年目を迎えました。

昨年の4月には保育所の2か所目となる「あきつやまゆり保育園（定員100名）」を開設し、新しい仲間を増やしました。今年には所沢市北原町において5施設目となる特別養護老人ホーム（80床・ショート10床）を整備し、平成30年4月の開設に向け準備を進めてまいります。

更に、今年の4月からは、社会福祉法の一部が改正され、経営組織のカバナンスの強化、事業運営の透明性の向上など法人としての取り組みが求められていきます。信頼される事業運営を目指し、日々精進してまいりますので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人 啓仁会

法人本部

(埼玉県所沢市)

常務理事 高見 修也

新年のご挨拶を申し上げます



皆様あけましておめでとうございます。昨年6月に常務理事を拝命し、大変な重責に身の引き締まる思いで新年を迎えました。

医療・介護を取り巻く環境は、厳しさを増しておりますが、反面チャンスでもあります。

昨年いくつかのセミナーに参加しましたが、自社開発の電子カルテや情報システムで医師のみならず地域のケアマネとも情報共有し訪問診療ネットワークを構築している医療法人、医師事務の活用により医療の充実化と業務の効率化を両立させている医療法人など、工夫を凝らして成長している法人がたくさんあります。

年が明けるとということは、心機一転してチャレンジする気持ちを奮い立たせるきっかけにもなります。諦めなければ道は開けます。今年も皆様と共に様々なチャレンジを続けたいと思います。

平成クリニック

(埼玉県所沢市)

院長 構木 睦男

世界の右傾化と福祉の危機について



まるでイカサマトランプに嵌められたような米大統領選挙でしたが、世界中の右傾化ドミノの危機も迫っています。ソビエト連邦の存在が西側諸国に社会福祉政策を強要して

ました。

が、その圧力が消滅して資本の論理が牙を剥きました。新自由主義が決してトリクルダウン(おこぼれ)を齎(もたら)さず、中間層を破壊してしまいました。多くの人が報われていないと感じて世界中に怒りが蔓延しています。ISの怒りも根は同じかもしれません。この状況では福祉は冬の時代に入ります。世界経済が活発になることは良いことですが、社会保障を十分出せる制度でないと社会は存続できません。トリクルダウンを富者のお恵みではなく制度化するしかないと思います。



平成の森・川島病院

(埼玉県川島町)

院長 坂井 誠

新年のご挨拶



昨年はEU離脱を決めたイギリスの国民投票や次期アメリカ大統領にトランプ氏が決まるなど、反グローバルイズムの波に驚かされました。一方、生物の基本的な仕組みであるオートファジーを解明した大隅良典先生のノーベル賞受賞は大変面白いニュースでした。他の人がやらないことを地道に行う、効率を追求しすぎないで余裕を持つとの先生の研究姿勢は我々の行動規範にも通じるのではないのでしょうか。

今後団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて医療機能は集約化しますが、余裕を持って対処したいと思います。今年も高齢者のQOLを重視した医療、チーム医療の実践、地域社会との連携を3本柱として職員一同邁進しますのでどうぞよろしく申し上げます。

介護老人保健施設 平成の森

(埼玉県川島町)

施設長 塚田 俊彦

新年明けましておめでとうございます。



政権主流派の意図に反して小池百合子氏が東京都知事に選出され、幾つかの都のプロジェクトに不透明感が漂っています。国際政治においても大どんでん返しの結果、英国の欧州連合離脱やトランプ氏の米国大統領就任もあって、今年には先の見通しが難しい年になりそうです。

わが老健平成の森は、静かな内海に停泊する小舟のような存在かも知れませんが、国際社会という外海で荒れる怒濤の影響を少なからず受けるはずですが、何があってもピンチはチャンスと考え、気を引き締めつつ前に進みたいものです。



平沢記念病院

(埼玉県所沢市)

院長 井川 真理子

新年あけましておめでとうございます



平沢記念病院は昨年3月に院長が交代し、開院15周年の年に、新たな一歩を踏み出すことになりました。長年勤務されていた職員が辞めていくのを見送るのはとても残念です。

しかしながら新しい職員が増え、それが刺激となり、今迄のやり方を見直す良い機会を得る事が出来ました。

世の中の事件からは精神障害者の人権、高齢者の認知機能と自動車運転について考えさせられる1年でした。患者さんが持っている能力をどうしたら最大限生かせるかを模索していきたいと思えます。

今年もスタッフ一同、協力しながら地域の皆様に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘

(埼玉県所沢市)

施設長 鷺塚 誠

新年あけましておめでとうございます



昨年のアメリカ大統領選挙でのトランプ旋風以降、ヨーロッパでも既存政治への反対、ポピュリズム(大衆迎合主義)の台頭が広がっています。変化がないのは与党絶対多数の日本だけのように思います。しかしながら医療・介護の状況を考えると、消費税引き上げが引き伸ばされ、社会保障費の財源が不足しています。医療・介護の抑制だけ表に出ています。在宅医療・介護への掛け声ばかりです。こういう状況です。

ので、当施設も従来型老健から在宅強化型老健への転換を迫られています。本年中には、在宅復帰率30%をクリアできるように頑張りたいと思っています。稼働率をなるべく下げないで達成しなければいけないと思います。今年も皆様方のご支援・ご協力をよろしく申し上げます。